



「研修便り」は、高知市立学校教職員研修の成果・内容の共有、研究所から発信する情報の提供を目的として、発行していきます。

平成26年度 第2回授業改革実践研修会

日時：平成26年9月26日（金）実施

- 目的**
- ・ 通常の学級の授業における特別な支援を必要とする児童生徒への指導のあり方を学ぶ。
 - ・ 魅力ある「分かる授業」を創るため、授業力の向上を図る。

研修Ⅰ【公開授業】「森林のおくりもの」

授業者：三里小学校 山崎 秀忠 教諭

【目標】題名の工夫や述べ方に注意して読み、要旨を読み取る。

【特別な支援を要する児童への手立て】

集中が続きにくい児童については、学習の流れをあらかじめ示すことによって今何をしているのかを明確にさせ、途中からでも学習に参加しやすい環境をつくるようにした。

自分の力で意見をまとめることが苦手な児童については、前時に使ったワークシートを用いたり、学習の足跡を掲示する中にポイントを示したりすることで、視覚的に進め方が確かめられるように配慮した。また、班の話し合いの中でも友だちの意見を参考にしていることを伝え、短くてもいいので自分の言葉で書いたり話したりできるようにした。



研修Ⅱ【講評・講話】「授業における特別な支援を要する児童への指導のあり方について」

全体講師：プール学院大学 松久 眞実 准教授

特別支援教育を念頭に置いて指導する際のポイント

【ハード面】

視覚支援
スケジュールの提示
教室の構造化

【ソフト面】

褒め方・叱り方
わかりやすい指示の出し方
教師を信頼・尊敬しているか

指導の両輪

ハード面の支援
を有効にするため
に必要なこと

幼稚園・低学年でより必要になる

高学年・中学生になるほど必要になる

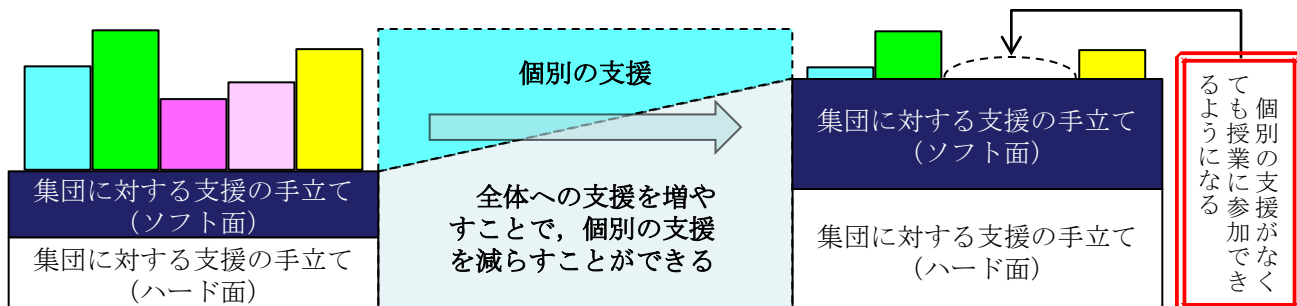
具体的
支援の
手立て

- ・ カード等で視覚支援をする
- ・ 板書と手元を一致させる
- ・ 具体的に指示をする
- ・ ルールを明確にする
- ・ 落ち着いた声で話す
- ・ 見通しをもたせる
- ・ 活動を取り入れる 等

信頼される教師とは…

- ・ 毅然としている
- ・ 教師の基準がぶれない
- ・ 取るに足らないことで叱らない
- ・ 全体ではルールに従った毅然とした指導、1対1では温かく優しい

障がいのある子とない子が、できるだけ同じ場でともに学ぶことをめざす⇒ユニバーサルデザインの授業づくり



【受講者の感想】

- ・ 児童に不安を与えない姿勢や、先読みした声がけ・支援が必要だと感じた。普段から曖昧な言い方が多いので、褒め方や叱り方を意識し、明確に切り替え、簡潔に伝えていくようにしようと思った。
- ・ 自分自身の強さ・弱さを知って、実践を重ねたいと思った。“信頼・尊敬される教師をめざす”という原点を改めて思い起こすことができた。

平成26年度 高知市研究協力校研究発表 高知市立朝倉中学校
研究テーマ「朝中・自分探しの旅 ～出会いを豊かさに～」

平成26年10月31日（金）

研究授業(各教室)

- 1年生 【人権学習】「自分発見」～誇ろう自分・認め合おうなかま～ 教材:「さるとかに」
2年生 【道德の時間】主題:4-(1) 違法 資料名:「ハインツのジレンマ」
3年生 【道德の時間】主題:2-(6) 感謝・貢献 資料名:「フィギュアスケーターの僕が、今できることー羽生結弦ー」
ひろば 【生活単元学習】 単元名:今年も「ひろばショップ」を開こう



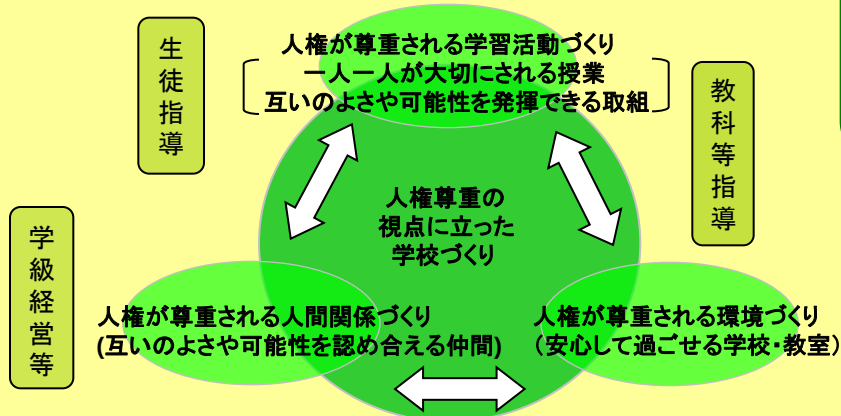
全体講演:「人権教育を基盤とした道德教育の進め方」

講師:香川大学附属教育実践総合センター 植田 和也 准教授

1 人権教育といじめに関して(児童生徒の人権感覚を健全に育ていくために)

● 人権尊重の視点に立った学校づくり

- ・ 教育活動全体を通して下のような力や技能等を総合的にバランスよく培うこと
- ・ 「学習活動づくり」「人間関係づくり」「環境づくり」が一体となった、学校としての取組



【人権教育の指導方法等の在り方について(第3次取りまとめ)】より

● 教職員一体となつての組織づくり, 場の雰囲気づくり

「いじめ」を許さない雰囲気が浸透する学校・学級で生活する
↓
「いじめ」を許さない人権感覚を身に付けることができる

● 授業における資料活用等

- ・ 映像番組の活用
- ・ 「私たちの道德」における「いじめ問題」等を扱っているページ

いじめ防止のために
道德教育に期待される
役割を重視

2 道德教育における課題と今後の動向

中央教育審議会の答申

「道德教育の特質を生かした授業がされていない」

「学校や教員によって指導の格差が大きい」



- ・ 「**特別の教科 道德**」(仮称)として位置付ける
- ・ 学習指導要領の改定をする
- ・ 学ぶ内容に「情報モラル」「生命倫理」等を入れる
- ・ **検定教科書の導入**, 郷土資料等も活用する
- ・ 評価は数値ではなく**記述式**にする

3 実際の道德の授業における指導法の工夫

